学校番号	１０１２

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の美術２　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自分の意図を大切に作品制作し、各々の個性に合った表現を模索し、掘り下げます。
作品の制作、展示、発表などを通して、他者との関わりをつくります。授業の中では、制作途中、完成後等に合評会を設けます。自分の作品や在り方についての理解を深めると同時に、他者の作品にも目を向け、味わい共感しましょう。

2　学習の到達目標

- 美術の創造活動を通して美的感覚を洗練し、表現と鑑賞能力を高める。
- 美術についての理解を深め、美術を愛好する心情を育てる。
- より一人一人に合った表現の方法を模索し、造形力を身に付ける。
- 美術を通して自分と他者との関わりを大切にする姿勢を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	自画像と手	・自分の顔を鏡でよく見ながらデッサンし、特徴をつかむ。 ・アクリル絵の具を使って淡彩で描く。 ・鑑賞会	a:意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や質感などの表現を工夫し、主題を追求して創造的にあらわしている。 b:対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、構成などを工夫している。鉛筆と絵具による表現のさまざまな効果などから主題を生成し、鉛筆と絵具の特性を生かした表現方法などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 c:主体的に対象を見つめ、感じ取った特徴や自分の思いなどをもとにし、淡彩ならではの効果などを追求して、表現の創造活動に取り組もうとしている。	作品 鑑賞ワークシート	作品 鑑賞ワークシート	活動の様子 振り返りシート 鑑賞ワークシート
2	仮面作り	・アイデアスケッチ ・骨組み ・和紙貼り付け ・着色 ・プレゼンテーション	a:形や色、素材などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、自己をあらわした作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 意図に応じて材料や用具を選択し、その特性を生かすとともに、表現の形態や方法を工夫し、主題を追求して創造的にあらわしている。 b:自己を見つめ、感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、材料の質感や量感を生かした表現などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 自己をあらわした作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 c:主体的に自己をあらわした作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の意図や作品に込められた思いなどについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	作品 鑑賞ワークシート	作品 鑑賞ワークシート	活動の様子 振り返りシート 鑑賞ワークシート

	ゼンタングル	・アイデアスケッチ ・黒画用紙と白画用紙の構成 ・ゼンタングルの表現を知る ・黒ペン、白ペンで描く	a:形や色、素材などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、自己をあらわした作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 意図に応じて材料や用具を選択し、その特性を生かすとともに、表現の形態や方法を工夫し、主題を追求して創造的にあらわしている。 b:自己を見つめ、感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、材料の質感や量感を生かした表現などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 自己をあらわした作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 c:主体的に自己をあらわした作品の造形的なよさや美しさを感じ取っている。	作品 ワークシート	作品 ワークシート	活動の様子 振り返りシート ワークシート
3	色面分割	・アイデアスケッチ ・コピー用紙から転写 ・配色計画 ・着色 ・プレゼンテーション	a:意図に応じて表現方法を創意工夫し、写真の特徴を生かして、目的や計画を基に創造的に表している。 b:主題を生成し、単純化や省略、強調などの効果や、色彩の調和などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 c:身近にある人物から受ける印象や色面分割の工夫について考え、主体的に表現の創造活動に取り組もうとしている。 配色のよさや美しさを感じ取り、そこに込められた意図を汲み取って見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	作品 鑑賞ワークシート	作品 鑑賞ワークシート	活動の様子 振り返りシート 鑑賞ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度